

ハートランド(渡良瀬遊水地) 私が案内します

切った木を無償配布

大西 実 さん 剛 さん

治水のために伐採し、それを家庭の薪に活用

「メリッメリッ」と音を響かせて幹回り約180cm の高木を、重機が引き倒していきます。ここは遊水地内 の思川河川敷、ヤナギ群落が約2万㎡に広がります。私、 高橋剛は、利根川上流河川事務所の古河出張所長です(写 **真上の左**)。伸びすぎた1085本の伐採を決めて1月 上旬に着手。半月弱の今日、この木が225本目です。

切り出したヤナギやクワは、広く市民に無償配布しま す。キャンプやバーベキュー用、燃料高騰もあり家庭の 風呂の薪などに人気です。持ち運びしやすい長さ約60 ~70cmにカット。2月になって、北エントランス近 くの駐車場に運びつつ、配布が始まりました(同下)。

私、大西実は利根上の管理課長です(写真上の右)。 樹木を伐採するのは、遊水地の治水機能を保つためです。 洪水時、繁茂した木々に浮遊ゴミがからむと流れが滞り、 木々で流れに片寄りができると堤防が削られることもあ ります。台風などでは、折れた木の片付けも必要です。

一方、困るのが大量に出た伐採木の処分。目を付けた のがアウトドアブームでした。「燃料」として活用して もらえばゴミが資源に変身する -- 。一級河川などでも



行う、いわば『一石二鳥』の策です。喜んでもらえ、私 たちも持ち帰ってもらえて助かります。節約した費用は 次に使え、持続可能な流れとなって定着しています。毎 年、「今年の配布予定は?」と問い合わせがあり、地域 とのつながり強化に役立っています。

遊水地ならではの工夫もあります。木々は野鳥が憩い、

木陰が自然を守り、景 観の一部です。次はど こを切るか、環境にも 配慮します。配布情報 は利根上HPに掲載。 管理課は(☎0480 -52-3957)



